一般缶材質表示マーク
スチール®
一般缶連合会ニュース
第129号
平成30年
7月30日
■発行所■
全日本一般缶工業
団体連合会
〒111-0053
東京都台東区浅草橋5-4-5
ハシモトビル5F 502号
電話03（5809）3136

全日本一般缶工業団体連合会

一般缶イノベーションフォーラム2018を開催

明治大森下正教授の特別講演

一般缶業界に求められる開発と改善をテーマ

～ものづくり集団としての原点回帰にスポット～

興味深く耳を傾ける参加者の皆さん

全日本一般缶工業団体連合会は平成30年7月6日、東京・港区の浜松町東京會舘で「一般缶イノベーションフォーラム２０１８」を開催し、会員会社など１０４人が参加した。運営委員長の鳥居廣氏が第1部及び第2部の司会を務めた。定村光会長が病気療養中のため清水雄一郎会長代行が「本フォーラムは会員会社を始め一般缶業界に関係する皆さまに何かしらの学びや気づきを提供できるような場としてスタートしている。しっかりと耳を傾けていただき有意義な時間を過ごしてほしい」と挨拶した。第1部の消費税軽減税率制度等説明会では東京国税局国税実査官の岸岡正登氏が平成31年10月から始まる同制度のポイントを説明。第2部の特別講演では明治大学政治経済学部専任教授の森下正氏が「一般缶業界に求められる開発と改善」をテーマに、ものづくり集団としての原点回帰にスポットを当てて見解を披露。第3部の交流パーティーでは運営副委員長の小西康晴氏が開会を述べ進行した。始めに清水会長代行の挨拶ののち、来賓を代表し経済産業省製造産業局金属課課長補佐の篠原康人氏が「鋼材需要は堅調な状況にあるが、金属業界は中長期的には厳しい環境にある。一般缶業界も非常に厳しいと聞いており、金属課としても力になることがあれば協力させていただく。昨年の金属産業取引適正化ガイドラインの策定でも一般缶の印刷不良の返品事例を明記したが、引き続きフォローアップしていきたい」と挨拶。続いて乾杯の発声に立ったＪＦＥスチール㈱缶用鋼板営業部缶用鋼板室長の藏本学氏が「8年ぶりにブリキ営業の部署に戻った。当時と比べ思うことが2つある。1つは取扱数量が非常に減ったこと。２０１０年頃の国内ブリキマーケットでは年１００万トンそこそこあったが、足元では70万トンで約3割減という状況にある。落ち込みの一番大きいのが飲料缶で、一般缶も2割ほど減っているが至近の3～4年は比較的に安定している。二つ目は客先で受けたスチール缶の印象として、非常に美しく魅力ある缶で素晴らしかった。若い人にも見て、触れて、感じてもらう機会を作ってもらえれば、素材メーカーとしてよりよい品質のブリキを提供できるようにしたい」と挨拶した。その後は歓談を経て鳥居運営委員長が中締めを行い散会した。

消費税の軽減税率制度を
分かりやすく説明する岸岡氏

特別講演要旨

開発と改善の違い

品質管理でいう「品質」とは100%良品を作ることではなく「売れる」品質のことである。過剰品質でも低品質でもいない。お客さんが欲する品質を狙う。開発とは、単に新製品や新技術を開発することではなく、売れるものを最小コストで開発し、設計情報を創造すること。改善とは設計情報を転写し、最小コストで最高品質のものを生産することである。

自社の持続的発展に必要な開発プロセス

持続可能経営の考え方には従業員重視、仕入先（取引先）重視、お客様（顧客）重視、地域住民重視、借入先重視、投資家重視があり、いわば現代版近江商人魂である。

自社の持続的発展に必要な12の手法

①自社分析と方向性の明確化→自社のできること、得意技、強みを整理し課題を明確化するとともに自社の方向性として、差別化できる目標とビジョンを構築する。**②本業（コア・コンピタンス）の用途開発**→本業に対する見方（捉え方・固定概念）を変える。**③「自社ができること・強みの棚卸と再構築」**→自社の技術・技能や機械・治具工具・設備でできる強みを把握し、新たな活かし方を明確にする。**④「自社製品を通じて自社技術をPR」**→自社技術で開発した自社製品を目標とする市場で告知する。ここでいう自社製品とは、自社で販売することで流通ネットワークを作っていくことができる製品で、市場に卸売りし自社製品化（売れるもの）になる製品をさす。マーケティングの専門用語に「認知訴求」という言葉がある。これは自社製品を通じて技術が知られ、技術が知られることで市場での関心・興味を引くという意味である。例えば缶はどこの会社のどんな人たちがどうやって、どういう想いで作っているのかをPRする。**⑤製品（企画・流通・生産）コンセプトを明確化**→買い手を引きつける魅力ある企画、いかなる属性の買い手かを設定した流通、ムリ・ムダ・ムラを排除した生産を明確に行う。**⑥製品・作品ではなく売れる商品化**→工場で生産された製品をお客に販売する商品にする。**⑦既存技術・技能・設備・道具を活用**→長年、手がけてきた技術・技能を強みとし、新しいことに転用する。**⑧常識を超えること**→従来から当たり前にやってきたこと（常識や慣習など）を再確認し、異なる視点から見つめ直す。**⑨手間暇かけること**→面倒なこと、手間がかかることほど残されている。問題解決能力、行動力、経験力が技術開発につながる。**⑩「製品（商品）誕生のストーリーの明確化」**→工場で生産されたモノの背景（どんな技術を使って、どんな想いを込めて、どんな所で作られたか）を伝える。**⑪単発ではなく、連発で市場浸透**→1回だけの瞬間的な注目を得ても見逃されるし、忘れられるので、毎年、新製品を開発し、発表し続ける。一度出展した展示会へは毎年で出展し、見てもらう努力を続ける。**⑫異業種・異分野との交流**→新しい刺激、気づき、発見、きっかけを作る場を持つ。

日常的改善は仕上げの仕事

地球環境を破壊しない経営を心がけること。ムリ・ムダ・ムラの排除から始め、6R（Refuse：ごみになるものを断る。Reduce：発生抑制。Reuse：再使用。Repair：修理。Rebuild：改築、改造。Recycle：再生利用）を実践し、これらを事業化する。さらに自然、生活、健康に良い製品・サービスへシフトする。例えば長持ち製品はごみの減量化につながるし、食品なら有機・無農薬にこだわる。顧客の願望の増分効用の高い製品やサービスなら、押し付け販売にはならないのでムダがない。

成長・発展に資する組合活動

①組合の理念・ビジョンを明確化する

基本理念とは組合の創業者たちが有する創業の精神、夢や願い、価値観のことで、まさに組織としての生き様を表し、経済・社会環境の変化の中にあっても変わらないものであって、自分たちは何者で何を目指し、何を基準に進んでいくのかを理解することができる未来へ向けたイメージのことである。一方、事業目的や目標、運営方針、業務上の慣行などは経済・社会環境の変化の中で常に変わっていくもので、基本理念と混同してはならない。自分では見ることができない未来の100年先を考えて作るのが「理念」であり、10年先を考えて作るのが「目的」である。

②組合と組合員を取り巻く環境分析と経営資源の棚卸しを行う

経営者、社員、組合員、機械設備、工場、店舗、製品、サービス、HP、広告、イベントなどの内部環境は個々の企業・組合の努力で変化させることができる。一方、商圏、顧客ニーズ、流行、他地域・他社・他組合との競争状況、景気動向、法規制の改正、政策、交通環境などの外部環境は個々の企業・組合の努力では変化させることは難しい。

③多様な連携活動を行う

中小企業同士（同業種・異業種）の連携から農商工連携（中小企業・農林漁業者）、企業・市民連携（中小企業・市民団体NPO／NGO）、産学官金連携（中小企業・大学等研究機関・自治体支援機関・金融機関）まで多様な組織との連携活動を積極的に行う。

④ステイクホルダーが幸せになる組合・企業を目指そう

感謝され、応援される組合、期待（予想）以上の感動を与える組合、拡大よりも充実の組合を目指すことを提案する。

［講師プロフィール］

もりした　ただし
森下　正 氏
明治大学 政治経済学部
専任教授

1965年埼玉県生まれ。1989年明治大学政治経済学部卒。1994年同大学院政治経済学研究科博士後期課程単位取得・退学。同年4月同大学政治経済学部専任助手に就任後、専任講師、専任助教授を経て2005年4月より現職。2005年2月に博士（経済学）を取得。専門は中小企業論。中小企業と中小企業協同組合に対する実証研究に従事すると同時に、全国各地の中小企業と組合のコーディネートやコンサルティング活動にも取り組む。主要著書は『空洞化する都市型製造業集積の未来～革新的中小企業経営に学ぶ～』『新事業創造論』など他多数。

西日本一般缶工業協同組合

創立50周年記念式典を厳粛に挙行

西日本一般缶工業協同組合は平成30年5月24日、午後4時から大阪市北区のＡＮＡＣＰホテルで創立50周年記念式典を挙行した。出席者は83人。冒頭、清水雄一郎理事長は「関係官庁、賛助会員、ご来賓の皆様、そして代々の理事長はじめ多くの先輩組合員の方々のご指導とご支援に深く感謝申し上げたい。一般缶業界も需要、価格、リサイクルの問題などさまざまな課題を乗り越えていかなくてはならない。これまで大切にしてきた組合員の団結力で、新しい時代に向かって業界発展のために努力していきたい」と挨拶した。

主催者の挨拶をする清水理事長

司会者から『創立50周年のあゆみ』のナレーションがあり、続いて表彰式に入った。近畿経済産業局長表彰、大阪府中小企業団体中央会会長表彰、西日本一般缶工業協同組合理事長感謝状の順に執り行われた。被表彰者を代表して馬場康之副理事長が謝辞を述べた。

続いて下宮金属工業㈱の下宮義弘会長が〝組合50年の思い出〟を語った。

来賓を代表して、近畿経済産業局長（小橋厚司製造産業課長が代理）、大阪府中小企業団体中央会会長（岸本貴志連携支援部主幹が代理）の祝辞があった。また松井一郎大阪府知事の祝メッセージ（別掲）が披露された。このあと、小西康晴副理事長の閉会の辞で閉式した。

創立50周年を祝って鏡開き

午後5時30分から始まった祝賀パーティーでは、清水理事長が開宴の挨拶を行い、大阪金属印刷工業協同組合の船奥敬理事長が祝辞を述べたあと、理事長ほか4人の方々で鏡開きを行った。ついで東日本一般缶工業協同組合の広浜泰久副理事長が乾杯の挨拶を行い、祝宴に入った。歓談の後、小西康晴副理事長の閉宴の言葉で全行事が盛会のうちに終了した。帰り際、組合特製の創立50周年記念缶（写真）が参加者に手渡された。

50th Anniversary

組合員合作による創立50周年記念缶

被表彰者名簿（敬称略）

近畿経済産業局長表彰

団体　西日本一般缶工業協同組合

個人　三国金属工業㈱代表取締役辻 亘彦

大阪府中小企業団体中央会会長表彰

個人　㈱ゼンユー代表取締役会長 馬場康之・江戸川製罐工業㈱代表取締役 渡邊静雄・中山製缶㈱代表取締役社長 中山裕文

西日本一般缶工業協同組合理事長感謝状

個人　大阪製罐㈱清水浩一・生野金属㈱小西克彦・平和製罐㈱中田成一・下宮金属工業㈱下宮義弘

組合員会社の優良従業員　生野金属㈱仙波信彦・同社盛田宏美・大阪製罐㈱中森明・同社高羽英二・三国金属工業㈱土田耕一・同社大槻良太・明和金属工業㈱藤井篤・同社坂本幸司

松井一郎大阪府知事からの〝祝メッセージ〟

西日本一般缶工業協同組合の創立50周年をお祝いいたしますとともに、創立50周年記念式典及び祝賀会のご盛会をお慶び申し上げます。

長年にわたり、一般缶の普及を通し、商品の安全な流通や資源のリサイクルに大きく貢献されてきた皆様のご尽力に深く敬意を表します。

結びに西日本一般缶工業協同組合の今後ますますのご発展と皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。

平成30年5月24日

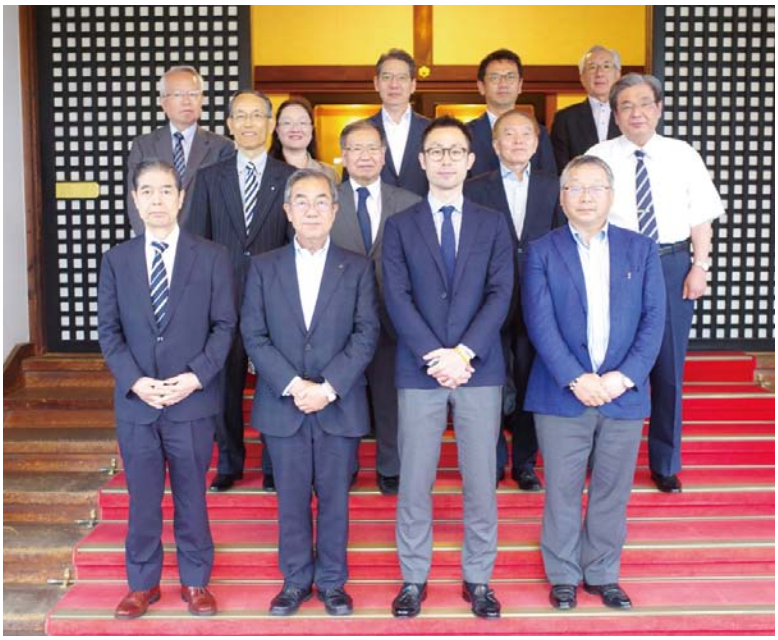
大阪府知事　松井一郎

全日本一般缶工業団体連合会

第40回定時総会を開催
会長代行に清水副会長が就任

全日本一般缶工業団体連合会は平成30年6月15日、東京・港区元赤坂の明治記念館で第40回定時総会を開催した。出席者は11人。安藤宏行副会長の開会の辞で始まり、清水雄一郎副会長が挨拶したあと、同副会長が議長となり「平成29年度事業報告書及び決算関係書類承認の件」「平成30年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法の決定の件」「全日本一般缶ＰＲ活動推進協議会の件」が上程され、いずれも原案通り可決承認された。「役員交代の件」では、池田祥三理事（中部製罐工業協同組合理事）が辞任した。また、定村光会長が病気療養中のため、会長任期満了となる平成31年6月までの間、会長代行に清水副会長をあてることを全会一致で承認した。その他の案件では、食品衛生法改正に関する問題については、速やかに会員各社に情報伝達することに決定した。

最後に西日本、中部、東日本の代表が近況報告を行ったのち、広浜泰久理事が閉会の辞を述べ終了した。



明治記念館本館入口（明治14年建設）で記念撮影

◆平成30年度事業方針◆

PR事業では、本連合会制作の「一般缶DVD」を小学校の社会科授業の副教材に活用してもらうため、平成30年4月に制作した授業活用事例動画（ユーチューブ）をPRし、その普及活動を推進する。展示会では、「エコプロ2018」に出展し、リサイクルの優等生である一般缶の良さを一般消費者等にアピールする。また、スチール缶のリサイクルをより円滑に行うために一般缶業界独自に制定した「一般缶材質表示マーク」の使用に関するマニュアルを見直す。広報事業では、一般缶リーフレットを顧客の目線に合わせた内容に改訂する。教育情報事業では「一般缶イノベーションフォーラム2018」を開催し、明治大学の森下正教授から「一般缶業界に求められる開発と改善～ものづくり集団としての原点回帰を～」をテーマに講演していただく。このほか、景気動向等アンケート及び一般缶鉄鋼月報の取りまとめ、新年賀詞交歓会、一般缶連合会ニュースの発行等についても例年どおり行う。

会員組合通常総会報告

■東日本一般缶工業協同組合

東日本一般缶工業協同組合は平成30年5月17日、東京・港区の浜松町東京會舘で第40回通常総会を開催した。出席者は委任状を含め36人。竹内雅夫副理事長の司会で進行し、鳥居 廣副理事長が開会を宣し、広浜泰久理事長代行が挨拶した。同理事長代行が議長となり「平成29年度事業報告書及び決算関係書類承認の件」「平成30年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件」「平成30年度借入金残高の最高限度決定の件」が上程され、提出議案はいずれも原案通り可決承認された。最上裕光常任理事が閉会の辞を述べ終了した。

■西日本一般缶工業協同組合

西日本一般缶工業協同組合は平成30年5月24日、大阪市北区・ＡＮＡＣＰホテル大阪で第50期通常総会を開催した。出席者は委任状を含め22人。清水雄一郎理事長が挨拶したのち議長となり「平成29年度事業並びに決算報告書の承認の件」「平成30年度予算案並びに事業計画承認の件」「組合創立50周年記念式典開催の件」が上程され、提出議案はいずれも原案通り可決承認された。

小西康晴副理事長が閉会の辞を述べ終了した。

■中部製罐工業協同組合

中部製罐工業協同組合は平成30年5月16日、名古屋市中区・ローズコートホテルで第68回通常総会を開催した。出席者は委任状を含め8人。

事務局が開会を宣し、安藤宏行理事長が挨拶したのち議長となり「平成29年度事業報告・収支決算報告及び剰余金処分案の件」「平成30年度事業計画案及び収支予算案の承認に関する件」が上程され、提出議案はいずれも原案通り可決承認された。石川浩章副理事長が閉会の辞を述べ終了した。

全日本一般缶工業団体連合会

東京・台東育英小学校で出前授業

次代を担う子供たちに 日本のものづくりの大切さを発信

全日本一般缶工業団体連合会は平成30年2月28日、東京・台東区の台東育英小学校3年生（生徒数27人）を対象に同連合会が自主制作した一般缶ＤＶＤ「人の技と夢が詰まった一般缶」を教材に出前授業を実施した。平成29年11月28日に同校5年生で実施して以来2回目となる。出前授業は次代を担う子供たちに一般缶の社会的有用性やその製造過程を通して日本のものづくりの技術・知恵や大切さなどを学んでもらう取組の一環で実施している。今回のテーマは「一般缶について知ろう」。生徒にＤＶＤの中のプロローグから缶の材料とデザイン、金属印刷・製缶の工程までを鑑賞してもらった後、講師役の同連合会野口雅春専務理事は、撮影で使った缶の部品を見せながら缶造りについて補足説明した。さらに「缶の材料のブリキは磁石に付くこと」「使い終わった缶は裁縫箱など色々な入れ物に再利用できる」「生徒が暮らしている台東区には、昔は缶の工場がたくさんあったが今では1ヶ所しか残っていない」などを紹介した。

生徒から「ふたの角を丸める技術はすごい」「缶をつくる手順や技術を学んだ」「ふたの部分を持っても缶が落ちないのに簡単にふたを開けられる技術はすごい」「缶が出来上がるまでにたくさんの人が携わっていることに驚いた」などの感想が寄せられた。担任の先生からは「ＤＶＤは視覚に訴えられるので子供たちは普段よりも理解が早かった」「実物があることによって子供たちは余計に『触ってみたい』『見てみたい』『知りたい』という好奇心がたくさん生まれると思う」と生徒の反応について語った。

3年生の教室で子供たちにものづくりの大切さを説明する野口専務理事

東日本一般缶工業協同組合

「課題解決プロジェクト」成果普及講習会を開催

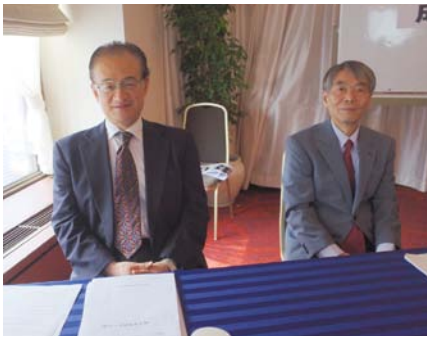
一般缶業界再生への道を探る

東日本一般缶工業協同組合は平成29年度に組合及び組合員の新たな発展と組合の組織強化、活性化を図る目的で、東京都中小企業団体中央会の支援を受けた課題解決プロジェクト事業で①組合組織の存在意義と組合理念の確立②組合財政と共同事業の見直しを研究テーマに設定し、テーマの解決の糸口を抽出するため、組合員を対象に経営実態調査及びヒアリング調査を実施した。これらの調査の分析結果や研究内容を「課題解決プロジェクト支援事業成果報告書～一般缶業界再生への道～」としてとりまとめた。

この成果を組合員に周知させるため同組合は平成30年5月17日、東京・港区の浜松町東京會舘で課題解決プロジェクト成果普及講習会を開催した。出席者は21人。

開講にあたり広浜泰久理事長代行が挨拶した後、同事業を主導した課題解決プロジェクト特別委員会の竹内雅夫委員長（同組合副理事長）が講習会の趣旨説明を行った。続いてコーディネータの多田統一氏（同組合特別顧問）が「一般缶業界再生への道」をテーマに講義した。また、明治大学政治経済学部の森下正専任教授が専門家の立場から指導所見を述べた。終了後には講習会に参加した満足度、理解度や報告書の評価などを聞いたアンケートを実施した。

組合と組合員の将来について真剣に考える出席者



コーディネータの多田統一特別顧問（右）と専門家の森下正明治大学教授

東日本一般缶工業協同組合

第38回優良従業員表彰式を開催

定村理事長から優良従業員10人に表彰状が授与される

東日本一般缶工業協同組合は平成30年2月1日、東京・中央区の明治座で第38回優良従業員表彰式を開催した。表彰式は組合創立以来毎年実施している。今回は組合員各社から推薦された10人が受賞した。

来賓として関東経済産業局産業部製造産業課の斎藤昌子課長と東京都中小企業団体中央会の堀内忠専務理事、橋北隆総務課長が出席した。

表彰式は神宮善太郎運営委員長の司会で進行。竹内雅夫副理事長が開会の辞を述べたあと、挨拶に立った定村光理事長は、一般缶DVDの制作やDVDを使った台東育英小学校での出前授業など、最近の主な組合活動を紹介しながら「最近のものづくりは大量生産で安く売れればいいという風潮がはびこっている。本当にこれでいいのか。ものづくりの大切さは人間の心が基本だ。心を込めてつくれば消費者に渡ったときにその心がいくらかでも通じるはずだ。このことを皆さんは忘れないで欲しい」と激励した。

続いて同理事長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念品が渡された。受賞者を代表し金方堂松本工業㈱製造管理課課長代理の木村広太氏が謝辞を述べた。このあと関東経済産業局の斎藤課長、東京中央会の堀内専務理事から祝辞があった。水戸部伸寿理事が閉会の辞を述べ、記念撮影ののち表彰式は終了。休憩後、明治座「コロッケ特別公演」を観覧した。

受賞者は以下の通り（敬称略）。

中村崇（金方堂松本工業㈱）、木村広太（同社）、堀江英樹（同社）、野口定夫（寺島製缶工業㈱）、岡田貴子（㈱トーカン）、町田直子（㈱ヒロハマ）、山崎加代子（同社）、瞿　雷（同社）、井上亜夕実（同社）、渡會哲也（水戸部製缶㈱）

受賞者から寄せられた主な感想

◆この受賞を糧として丁寧に前向きな姿勢で仕事に取り組んでいきたい。

◆特別公演もとても楽しく日頃の疲れがとれた。日々頑張り会社に貢献したい。

◆上司、同僚や家族のおかげで表彰されたと思う。これを忘れずに精進したい。

◆チャレンジ精神を忘れず、業界の発展に貢献できるよう努めます。

◆〝初心忘るべからず〟年数を重ねてもおごることなく仕事に臨んでいきます。

◆大変価値ある受賞でした。さらに自分を磨き業界の発展に尽くしていきたい。

表彰式会場で記念撮影。前列右から4人目が関東経済産業局斎藤課長、同3人目が東京都中央会堀内専務理事、同2人目が同橋北課長

感謝状

東日本一般缶工業協同組合　殿

貴組合は永年にわたり共同事業を実施され組合員および地域経済の発展に尽力されるとともに当金庫の使命達成に多大の貢献をされました
貴組合創立四十周年にあたりここに記念品を贈り深甚なる感謝の意を表します

平成三十年五月十七日

商工中金
代表取締役社長
関根正裕

東日本一般缶工業協同組合

商工中金から感謝状

東日本一般缶工業協同組合は平成30年5月17日、共同事業を通じて地域経済等の発展に貢献したとして組合創立40周年にあたり、関根正裕商工組合中央金庫（商工中金）社長から感謝状を受賞した。

一般缶友会が28年の歴史に幕

一般缶缶友会（会長・齋藤光由齋藤製罐社長）は平成30年3月15日、臨時総会を開催し、会員数の減少に加え、経営者の高齢化や若手後継者不足等の理由で平成30年7月31日に解散する決議を行った。同会は東日本一般缶工業協同組合の青年部組織として位置づけられ一般缶製造業の次代を担う後継者を育成し、その継続的交流を通じて活動の強化を図る目的で、平成2年5月、「東日本一般缶若手経営者会」の名称で発足。平成12年に「一般缶若手会」、平成14年に「一般缶缶友会」と改称し、中小企業問題に関する研究及び研修や会員相互の親睦、協力企業との交流を中心に活動してきた。平成30年7月12日、東京・台東区雷門のステーキとみいで34人が参加して解散式を開き、創立から28年の歴史に事実上の幕を閉じた。

平成29年12月～平成30年5月までの一般缶生産出荷実績

（単位：t）

	年　月	生　産	出　荷		在　庫
			販　売	その他	
経済産業省データ	29.12	5,284	5,981	59	9,338
		(5,103)	(5,336)	(144)	(9,314)
	30. 1	4,628	5,120	44	8,824
		(4,453)	(4,536)	(880)	(9,900)
	2	4,774	5,408	48	8,120
		(4,717)	(4,654)	(97)	(9,928)
	3	5,045	5,576	51	7,572
		(5,325)	(5,378)	(76)	(9,782)
	4	4,938	4,717	65	7,741
		(4,862)	(4,843)	(23)	(9,767)
	5	4,958	5,339	35	7,327
		(5,111)	(4,909)	(103)	(9,864)
連合会データ	29.12	4,001	4,090		5,872
		(4,038)	(4,080)		(5,038)
	30. 1	3,242	3,206		5,936
		(3,388)	(3,193)		(5,211)
	2	3,291	3,288		5,891
		(3,406)	(3,264)		(5,262)
	3	3,375	3,489		5,807
		(3,639)	(3,537)		(5,320)
	4	3,524	3,484		5,892
		(3,678)	(3,562)		(5,357)
	5	3,374	3,306		5,995
		(3,617)	(3,450)		(5,551)

（　）内は前年同月実績
経済産業省データは生産動態統計鉄鋼月報より転載

東日本一般缶工業協同組合

教育技術講習会を開催

テーマ

「品質管理につながる測定器具の使い方、管理方法及び強度試験」

東日本一般缶工業協同組合は平成30年3月19日、東京・墨田区吾妻橋のすみだビジネスサポートセンターで教育技術講習会「品質管理につながる測定器具の使い方、管理方法及び強度試験」を開催した。この講習会は同センターのオンデマンド制度を活用して企画された。参加者は8社10人。講師は同センターものづくりコーディネーターの中条知和氏と清水直人氏。前半は代表的な測定器具であるブロックゲージ、ノギス、マイクロメーター、ダイアルゲージの使い方と精度管理について説明を受けた。後半は試験機を使って引張、圧縮、曲げ等の試験方法を学んだ。

自社の品質管理に役立たせようと熱心に勉強する参加者

全日本一般缶工業団体連合会

今年もエコプロ2018に出展します

■平成30年12月6日（木）～8日（土）
■東京ビッグサイト東ホール

全日本一般缶工業団体連合会は今年20回目となるエコプロ2018にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展し、エコの優等生である一般缶を広くアピールします。

エコプロ2018は消費財や生産財、エネルギー、各種サービスまで、650社・団体が出展する環境とエネルギーの未来展。来場層は環境への関心が高いビジネスパーソンから一般消費者まで様々なステークホルダー17万人が来場予定。

暑中お見舞申し上げます

（順不同）

新日鐵住金株式会社
代表取締役社長　進藤孝生
東京都千代田区丸の内二―六―一
電　話〇三(六八六七)四一一一

JFEスチール株式会社
代表取締役社長　柿木厚司
東京都千代田区内幸町二―二―三
電　話〇三(三五九七)三一一一

東洋鋼鈑株式会社
代表取締役社長　田辺敏幸
東京都千代田区四番町二―一二
電　話〇三(五二一一)六二一一
FAX〇三(五二一一)〇一八一

全日本金属印刷工業協同組合連合会
会　長　中田正和
東京都墨田区業平一―二―六
本所ビル二階
電　話〇三(三六二六)二四一一
FAX〇三(三六二六)二五〇二

東京都鉱力地金商業協同組合
理事長　茂木孝之
東京都中央区日本橋大伝馬町一―七
電　話〇三(三六六三)八三五七
FAX〇三(三六六三)八三五八

全日本一般缶工業団体連合会
会　長　定村　光
東京都台東区浅草橋五―四―五
ハシモトビル五F五〇二
電　話〇三(五八〇九)三一三六
FAX〇三(三八六四)〇九一一

東日本一般缶工業協同組合
理事長　定村　光
東京都台東区浅草橋五―四―五
ハシモトビル五F五〇二
電　話〇三(五八〇九)三一三六
FAX〇三(三八六四)〇九一一

西日本一般缶工業協同組合
理事長　清水雄一郎
大阪府大阪市北区天神橋二―四―一七
千代田第一ビル
電　話〇六(六三五三)一九七三
FAX〇六(六三五三)一九六七

中部製罐工業協同組合
理事長　安藤宏行
愛知県瀬戸市安戸町一三―八
電　話〇五六一(八四)四八五八
FAX〇五六一(八四)四八五八

寺島製缶工業株式会社
代表取締役　定村　光
東京都葛飾区立石二―二五―一
電　話〇三(三六九三)〇八四一
FAX〇三(三六九四)七七五九

株式会社ヒロハマ
代表取締役社長　本多三郎
東京都墨田区石原二―二八―一一
電　話〇三(三六二五)一六八〇
FAX〇三(三六二五)一六八八

エヌエス金属工業株式会社
代表取締役社長　中田則彦
茨城県つくば市緑ヶ原四―六
電　話〇二九(八四七)七二二〇
FAX〇二九(八四七)六七七九

江戸川製罐株式会社
代表取締役　加島　裕
東京都江戸川区平井五―四六―九
電　話〇三(三六一二)四一三一
FAX〇三(三六一七)五〇三四

金方堂松本工業株式会社
代表取締役社長　竹内雅夫
東京都台東区東上野一―二八―一二
電　話〇三(三八三二)一一九一
FAX〇三(三八三二)七一四一

株式会社神宮製作所
代表取締役　神宮善太郎
千葉県野田市上三ヶ尾二六一
電　話〇四(七一二五)一二六一
FAX〇四(七一二五)三六三七

杉浦製罐株式会社
代表取締役　杉浦由記夫
茨城県守谷市百合ヶ丘二―四八〇七
電　話〇二九七(四八)二五五一
FAX〇二九七(四八)二五五二

東邦金属工業株式会社
代表取締役　澤田武史
東京都江戸川区松島四―三七―六
電　話〇三(三六五四)八九一一
FAX〇三(三六五五)七三四八

中川製罐株式会社
代表取締役社長　中川太郎
東京都文京区湯島三―一六―一三
電　話〇三(三八三六)〇六九一
FAX〇三(三八三六)〇六九三

水戸部製缶株式会社
代表取締役社長　水戸部伸寿
東京都千代田区神田和泉町
一―一三―一
電　話〇三(三八六六)一一六六
FAX〇三(三八六六)二三八八

大阪製罐株式会社
代表取締役社長　清水雄一郎
大阪府東大阪市岩田町二―三―二八
電　話〇六(六七二三)五五四五
FAX〇六(六七二五)三四七〇

生野金属株式會社
代表取締役　小西康晴
大阪府高石市高砂三―二四
電　話〇七二(二六八)〇七七七
FAX〇七二(二六八)〇七八二

株式会社ゼンユー
代表取締役　砂川秀樹
大阪府大阪市淀川区加島
四―一〇―四四
電　話〇六(六三〇九)四〇三一
FAX〇六(六三〇一)二一〇〇

江戸川製罐工業株式会社
代表取締役　渡邊靜雄
大阪府大阪市鶴見区今津北
一―七―三八
電　話〇六(六九六八)六七六一
FAX〇六(六九六二)三二五八

下宮金属工業株式会社
代表取締役　下宮正裕
大阪府堺市堺区南島町三丁一三一
電　話〇七二(二二三)八一二〇
FAX〇七二(二二三)八一四〇

新高垣製缶株式会社
代表取締役　髙垣悦夫
奈良県天理市永原町五五
電　話〇七四三(六七)三一三一
FAX〇七四三(六七)三一四一

光工業株式会社
代表取締役社長　吉田冨美男
広島県東広島市志和町冠一一六五―二
電　話〇八二(四三三)五四〇一
FAX〇八二(四三三)五四五三

日西製罐株式会社
代表取締役社長　矢谷満里子
大阪府大東市御領三―五―二〇
電　話〇七二(八七四)〇九七一
FAX〇七二(八七五)四二五二

奥村製罐株式会社
代表取締役　奥村清司
京都府綴喜郡井手町大字多賀
小字西松ヶ花一
電　話〇七七四(八二)二〇七八
FAX〇七七四(八二)四三二四

平和製罐株式会社
代表取締役　田中住子
大阪府泉南市りんくう南浜三―一七
電　話〇七二(四八二)〇一〇〇
FAX〇七二(四八二)一〇一五

暑中お見舞申し上げます

（順不同）

三国金属工業株式会社
代表取締役　辻　亘彦
大阪府豊中市豊南町西四―七―二〇
電　話〇六(六三三二)〇二五一
ＦＡＸ〇六(六三三四)〇二五五

明和金属工業株式会社
代表取締役　渋谷　眞理子
大阪府高石市取石七―五―一六
電　話〇七二(二七四)一二〇一
ＦＡＸ〇七二(二七一)六三六五

山雄製缶工業株式会社
代表取締役　山本　浩之
大阪府大阪市北区大淀中
五―一一―一四
電　話〇六(六四五一)五一四一
ＦＡＸ〇六(六四五一)〇八二一

有限会社山野初製缶所
代表取締役　木下　光美
大阪府八尾市太田七―一〇
電　話〇七二(九四八)〇五五八
ＦＡＸ〇七二(九四八)二八五五

株式会社ライトハウス金属工場
代表取締役　岩橋　徹
大阪府大阪市鶴見区今津中
二―四―三四
電　話〇六(六九六三)〇四四一
ＦＡＸ〇六(六九六八)二二九八

日東製罐販売株式会社
代表取締役社長　安藤　宏行
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九
電　話〇五六四(五一)一五六一
ＦＡＸ〇五六四(五一)一五六三

高野興業株式会社
代表取締役　高野　康弘
東京都墨田区本所一―二―三
電　話〇三(三六二三)一一六六
ＦＡＸ〇三(三六二二)六二六四

富安株式会社
代表取締役社長　田川　正之
東京都墨田区太平四―五―一五
電　話〇三(五六一一)七七七〇
ＦＡＸ〇三(五六一一)七七六〇

中村商事株式会社
代表取締役社長　中村　定
東京都千代田区神田和泉町一―七一
電　話〇三(五六八七)五九一一
ＦＡＸ〇三(五六八七)六一五五

明邦鋼業株式会社
代表取締役社長　窪島　孝行
埼玉県越谷市新川町一―一四五
電　話〇四八(九八七)〇七〇一
ＦＡＸ〇四八(九八七)〇七三〇

スチールリーフ株式会社
代表取締役社長　茂木　孝之
東京都葛飾区亀有五―四八―一五
電　話〇三(三六二〇)八〇三〇
ＦＡＸ〇三(三六二〇)八〇六〇

エイコー株式会社
代表取締役　菊井　治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電　話〇四八(九二二)八三七三
ＦＡＸ〇四八(九二二)八三七五

株式会社ＭＯＢＹ
代表取締役社長　宮内　太
千葉県市川市塩浜一―一四
電　話〇四七(三〇六)〇二一〇
ＦＡＸ〇四七(三〇六)〇二四八

大成ブリキ印刷株式会社
代表取締役社長　中田　正和
茨城県稲敷郡河内町長竿富田四四六二
電　話〇二九七(八六)二二〇一
ＦＡＸ〇二九七(八六)二四二〇

東都金属印刷株式会社
代表取締役　菅谷　誠一
千葉県船橋市小野田町一五一二―三
電　話〇四七(四五七)五四六一
ＦＡＸ〇四七(四五七)七二三八

富安金属印刷株式会社
代表取締役　菊井　治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電　話〇四八(九二五)一五八一
ＦＡＸ〇四八(九二八)二六二〇

松本金属工業株式会社
代表取締役　松本　勝俊
大阪府大阪市北区天満二―一二―八
電　話〇六(六三五三)〇九四一
ＦＡＸ〇六(六三五三)九四四九

二橋プリント株式会社
代表取締役　二橋　英之
埼玉県三郷市彦川戸一―三八―六
電　話〇四八(九五三)二三六一
ＦＡＸ〇四八(九五三)五四二一

株式会社池上金属印刷
代表取締役　小川　千枝子
埼玉県八潮市大曽根一二八九
電　話〇四八(九九六)〇〇三九
ＦＡＸ〇四八(九九六)二七二七

株式会社城北鉱力印刷工業所
代表取締役　竹腰　忠臣
千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇一―一
電　話〇四(七一九八)二六一一
ＦＡＸ〇四(七一九八)二七七九

株式会社江連金属印刷所
代表取締役　江連　一
千葉県松戸市上本郷八一
電　話〇四七(三六二)〇一三五
ＦＡＸ〇四七(三六二)八七一五

新里機工株式会社
代表取締役　金澤　幸一
埼玉県川口市東領家四―七―一
電　話〇四八(二九一)九〇九七
ＦＡＸ〇四八(二九一)九〇九八

株式会社Ｎ・Ｐ・Ｗ技研（ネピュー）
代表取締役社長　山本　健士
三重県伊勢市佐八町八九四
電　話〇五九六(三九)一一三三
ＦＡＸ〇五九六(三九)一一三六

三幸商事株式会社
代表取締役　武田　有広
大阪府大阪市西区北堀江
一―二二―一四
電　話〇六(六五四一)九三三一
ＦＡＸ〇六(六五四一)三五八八

株式会社東伸金属印刷工業
代表取締役　佐郷　泰章
大阪府八尾市宮町三―四―七〇
電　話〇七二(九二三)〇九二一
ＦＡＸ〇七二(九二三)三八九一

株式会社井上博商店
代表取締役　井上　歩美
大阪府大阪市住吉区万代東
一―一―四〇
電　話〇六(六六九一)一一二五
ＦＡＸ〇六(六六九一)一一二七

是松鋼商株式会社
代表取締役社長　是松　一郎
大阪府東大阪市楠根二―六―三
電　話〇六(六七四八)二三六一
ＦＡＸ〇六(六七四六)〇四〇〇

ＪＦＥ商事ブリキセンター株式会社
代表取締役　清末　浩史
大阪府大東市御領三―七―三
電　話〇七二(八七〇)九七三一
ＦＡＸ〇七二(八七〇)九七三〇

日東金属工業株式会社
代表取締役　大久保　八城
大阪府八尾市太田七―一六
電　話〇七二(九四九)六七一一
ＦＡＸ〇七二(九四九)六七五九

暑中お見舞申し上げます

（順不同）

西部容器株式会社
代表取締役社長　川島大吾
大阪府摂津市別府二―三一―一八
電　話〇六（六三四九）一六五一
ＦＡＸ〇六（六三四九）七二二八

株式会社伊賀井商店
代表取締役　茶屋正則
愛知県東海市南柴田町ハの割一二八―一三
電　話〇五二（六〇三）五五九一
ＦＡＸ〇五二（六〇三）五五九五

株式会社愛罐コーポレーション
代表取締役　桑田敬士
東京都渋谷区恵比寿南一―一六―一二
電　話〇三（五七二〇）五五一五
ＦＡＸ〇三（五七二〇）五五一六

大貫金属工業株式会社
代表取締役　大貫賢充
東京都葛飾区東新小岩五―一七―二
電　話〇三（三六九一）六一七九
ＦＡＸ〇三（三六九一）六一七九

日本メタルプリント株式会社
代表取締役　大塚吉弘
千葉県船橋市南海神一―八―一
電　話〇四七（四三五）〇〇一二
ＦＡＸ〇四七（四三三）九七六一

◆東日本一般缶工業協同組合

ＣＰＳＭ会

平成30年4月11日筑波カントリークラブで第64回ＣＰＳＭ会を開催。参加者は24人。

上位入賞者は次の通り。

優勝　松村善治氏（松村製缶）
47・48・95・19・76

二位　小黒保満氏（日進製缶）
43・41・84・8・76

三位　窪島孝行氏（明邦鋼業）
46・53・99・20・79

シニア枠
優勝　松村善治氏（松村製缶）
47・48・95・19・76

次回は平成30年11月に行う予定。

◆西日本一般缶工業協同組合

缶友会ゴルフ会

平成30年5月10日大阪府の池田カンツリー倶楽部で、晴天の下、第152回のゴルフ会を開催した。

上位の入賞者は次の通り

優勝　佐々木浩司氏（富安金属印刷）
47・44・22・69

二位　増田竜介氏（井上博商店）
45・44・17・72

三位　小島善男氏（中村商事）
52・42・19・75

＊次回は平成30年10月に行う予定

平成30年2月から7月までの行事

[東日本一般缶工業協同組合]

2/1　第38回優良従業員表彰式
2/2　事務局長協会「新年交流会」
2/13　大和製罐㈱山口勇副社長お別れの会
2/14　第4回課題解決プロジェクト特別委員会
3/12　ＣＰＳＭ会打合せ会議
3/16　第2回常任理事会
3/16　第4回理事会（役員会）
3/19　教育技術講習会「品質管理につながる測定器具の使い方、管理方法及び強度試験」
3/20　東京中央会「情報連絡員報告会」
3/27　東京都経営支援課「中小企業支援・施策説明会」
3/29　事務局長協会「第62回定期総会」
4/11　第64回ＣＰＳＭ会
4/12　監事会
4/13　理事懇談会
4/19　第1回常任理事会
4/19　第1回理事会（役員会）
5/9　東京中央会「役員・評議員合同会議」
5/17　課題解決プロジェクト「成果普及講習会」
5/17　第40回通常総会
5/23　事務局長協会「総務部会」
5/31　東京中央会第66回通常総会
6/1　第5回課題解決プロジェクト特別委員会
6/5　算定基礎届申告説明会（年金事務所）
6/14　算定基礎届申告説明会（東京都鉄二健保組合）
6/18　理事懇談会
6/20　中小企業大学校研修会打合せ
6/25　東京中央会「金融委員会」
6/27　事務局長協会「企業等視察見学会」
7/10　東京中央会「役員・評議員合同会議」
7/18　正副理事長会議
7/24　東京都経営支援課「平成30年度団体情報連絡会」
7/24　東京中央会「パワーポイント講習会」

[西日本一般缶工業協同組合]

3/29　役員会
5/10　缶友会ゴルフ会
5/24　第50期通常総会
5/24　創立50周年記念式典・祝賀会

[全日本一般缶工業団体連合会]

2/7　鉄鋼製品団体協会「研修会・新年会」
2/27　東京都中小企業振興公社「中小企業ＩＯＴ活用最前線講習会」
2/28　台東育英小3年生出前授業
3/6　経済産業省金属課「食品衛生法改正説明会」
3/16　第2回理事会（役員会）
3/16　第3回全日本一般缶ＰＲ活動推進協議会
4/23　スチール缶連絡協議会監事会
5/8　明大森下教授との一般缶イノベーションフォーラム打合せ
6/15　第40回定時総会
6/15　第1回全日本一般缶ＰＲ活動推進協議会
6/26　鉄鋼製品団体協会「第56期通常総会」
7/6　一般缶イノベーションフォーラム2018
7/10　全国十八リットル缶工業組合連合会「第20回フォーラム18」
7/12　経済産業省金属課「製造業における外国人材受け入れ説明会」
7/18　第1回東日本一般缶ＰＲ活動推進協議会
7/25　スチール缶連絡協議会ＩＧＡＳ2018

[一般缶缶友会]

7/26　臨時総会
7/12　解散式

平成30年8月から平成31年1月までの行事予定

[東日本一般缶工業協同組合]

9/12　第2回理事会（役員会）
9/27　東京中央会「中小企業トップセミナー」
10/29　東京都鉄二健保組合「第19期組合会議員総会」
11/10　東京産業考古学会講演会
11/22　事務局長協会「職員交歓会」
11/22　東京都鉄二健保組合「理事会」
11/22　第65回ＣＰＳＭ会
12/14　第3回理事会（役員会）・忘年会

[西日本一般缶工業協同組合]

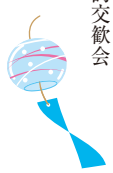
8/3　役員会
8/22　合同部会
10/3　4Ｓ会
10/下旬　缶友会ゴルフ会
12/7　役員会

[全日本一般缶工業団体連合会]

12/6～8　環境とエネルギーの未来展「エコプロ2018」

平成31年

1/11　三役年始挨拶回り
1/18　第1回理事会（役員会）
1/18　第2回全日本一般缶ＰＲ活動推進協議会
1/18　新年賀詞交歓会



組合伝言板

《代表者交代》

（特別賛助会員）
東洋鋼鈑㈱
代表取締役社長　田辺敏幸氏
平成30年6月

（一般賛助会員）
三井物産スチール㈱
代表取締役社長　宇都宮悟氏
平成30年4月
日鉄住金物産㈱
代表取締役社長　佐伯康光氏
平成30年6月

（東日本特別会員）
東洋製罐㈱
代表取締役社長　本多正憲氏
平成30年4月
大和製罐㈱
代表取締役社長　山口裕久氏
平成30年6月

（東日本組合員）
大日製罐㈱
代表取締役社長　石澤　昇氏
平成30年4月
大和サービス㈱
代表取締役社長　雨森雅彦氏
平成30年5月

（東日本協力会員）
㈱ＭＯＢＹ
代表取締役社長　宮内　太氏
平成30年4月

《脱退組合員》

（東日本組合）
善友金属㈱東京営業所
平成30年3月31日
松本製罐㈱
平成30年3月31日

《社名変更》

（西日本組合員）
㈱ゼンユー（旧会社名：善友金属㈱）
ＨＰ ＵＲＬ　http://www.zen-yu.co.jp
平成30年5月1日

《住所変更》

（東日本組合）
大和サービス㈱
〒131―0034
東京都墨田区堤通1―19―9
リバーサイド墨田セントラルタワー1階
電　話（03）6657―0401
ＦＡＸ（03）3611―0241
平成30年5月7日

《お悔やみ》

平成29年12月12日
大和製罐㈱代表取締役副社長
山口　勇様ご逝去
平成30年6月25日
㈲山野初製缶所取締役会長
山野良雄様ご逝去